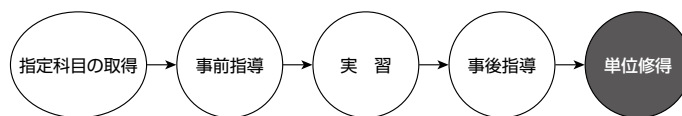


実習について

教育実習、養護実習、保育実習、社会福祉援助技術現場実習、精神保健福祉援助実習、介護実習、看護実習、博物館実習、介護体験実習等の概要についてまとめたものです。各実習の詳細、申込み手続きについては、各実習ごとの「手引き」によりますが、まず自分の該当する実習のアウトラインをつかんでください。

「実習」の流れ



No.	実習の種類	該当する免許・資格	実習期間
1.	幼児教育実習	幼稚園教諭一種・二種	4 週間
2.	初等教育実習	小学校教諭一種・二種	4 週間
3.	中学校教育実習	中学校教諭一種・二種	4 週間
4.	高等学校教育実習	高等学校教諭一種	2 週間
5.	養護実習	養護教諭一種	4 週間
6.	保育実習	保育士資格	[保育実習] を参照
7.	社会福祉援助技術現場実習	社会福祉士受験資格、高等学校教諭一種（福祉）	24日間
8.	精神保健福祉援助実習	精神保健福祉士受験資格	28日間
9.	介護実習	高等学校教諭一種（福祉）	10日間
10.	看護実習	養護教諭一種	6 日間
11.	博物館実習	学芸員資格	2 週間を原則
12.	介護体験実習	小・中免取得者	7 日間

教育実習（幼稚園・小学校・中学校・高等学校）、養護実習

教員免許状を取得しようとする方は、教育職員免許法に定められている通り、教育実習、あるいは養護実習（以下、特に規定しない限り「教育実習」に含める）の単位の取得が必要です。また教育実習を実施するためには、本学で規定する「教育実習基礎資格」を充足していなければなりません。

I 教育実習基礎資格について

教育実習を実施するためには、次の条件を充たしていることが必要です。

（１）該当の教員免許状取得に必要な単位数のうち、次の表に掲げる単位数を教育実習開始までに修得していること。

本誌の９～１８頁に実習基礎資格の修得科目・単位のチェックリストを掲載してありますので、ご参照ください。

〈注〉教育実習基礎資格における所要単位は、本学で修得済みの単位としてください。したがって、スクーリングを受講済み、科目終了試験を受験済みであっても、結果が未判定の場合は単位数に含めることはできません。

【１年次入学生】

取得免許状	教科に関する科目	教職に関する科目			全学共通科目	その他
		教科の指導法 ^(注)	保育内容の指導法	教職科目全般		
幼稚園	８単位以上 （音楽、図工、 専門体育より ２科目４単位 を含む）		７単位以上 （保育内容総論 及び保育内容 指導法より３ 科目６単位以 上）	１２単位以上	１０単位以上 （聖徳教育及び 教免必修科目 ８単位を含む）	１０単位以上 （基礎科目群よ り）
小学校	１０単位以上 （音楽、図工、 専門体育より ２科目４単位 を含む）	８単位以上 （９教科の教育 法より４科目 以上）		１２単位以上	１０単位以上 （聖徳教育及び 教免必修科目 ８単位を含む）	１０単位以上 （基礎科目群よ り）
中学校(国語) (社会) (英語)	１０単位以上 ※複数教科を取 得する場合は、 それぞれの教科 より各８単位計 １６単位以上を 取得する。	４単位 （該当教科の教 育法Ⅰ、Ⅱ） ※社会または複 数教科を取得す る場合は、それ ぞれの教育法を 取得する。		１６単位以上	１２単位以上 （聖徳教育及び 教免必修科目 ８単位を含む）	２０単位以上
高等学校(国語) (地歴) 文学科(公民) (書道) (英語)	１０単位以上 ※複数教科を取 得する場合は、 それぞれの教科 より各８単位計 １６単位以上を 取得する。	４単位 （該当教科の教 育法Ⅰ、Ⅱ） ※複数教科を取 得する場合は、 それぞれの教育 法を取得する。		１６単位以上	１２単位以上 （聖徳教育及び 教免必修科目 ８単位を含む）	２０単位以上
高等学校(福祉) 心理学科(公民)	１２単位以上 （福祉は社会福祉 学Ⅰ、Ⅱを含む）	４単位 （該当教科の教 育法Ⅰ、Ⅱ）		１４単位以上	１２単位以上 （聖徳教育及び 教免必修科目 ８単位を含む）	２０単位以上 （必修科目１０ 単位を含む）

注 … 教科の指導法（面接単位）受講条件には特に注意してください。

取得免許状	養護に関する科目	教職に関する科目	全学共通科目	必修科目	その他
養護	14単位以上 ※「学校保健Ⅰ・Ⅱ」「養護概説」「健康相談活動」「基礎看護」「学校救急看護」の6科目を含むこと。	16単位以上	12単位以上 (聖徳教育及び 教免必修科目 6単位を含む)	10単位以上	10単位以上

【2年次編入生】

上記1年次入学生に準じます（認定単位を含めることができます）。

【3年次編入生および課程正科生】 認定単位を含めず、本学で修得した単位にて計算します。

取得免許状	教科の指導法	教職に関する科目		
		教科の指導法(注)	保育内容の指導法	教職科目全般
幼稚園	8単位以上 (音楽、図工、専門体育より 2科目4単位を含む)		7単位以上 (保育内容総論及び 保育内容指導法より3科目6 単位以上)	12単位以上
小学校	10単位以上 ※課程正科生は二種の場合 6単位以上 (音楽、図工、専門体育より 2科目4単位を含む)	8単位以上 (9教科の教育法 より4科目以上)		12単位以上
中学校(国語) (社会) (英語)	10単位以上 ※課程正科生は二種の場合 8単位以上 ※複数教科を取得する場合は、 それぞれの教科より各8単位 計16単位以上を取得する。	4単位 ※課程正科生は二種の場合 2単位以上 (該当教科の教育法Ⅰ、Ⅱ) ※社会または複数教科を取 得する場合は、それぞ れの教育法を取得する。		16単位以上 ※課程正科生は 二種の場合 12単位以上
高等学校(国語) (地歴) 文学科(公民) (書道) (英語)	10単位以上 ※課程正科生は二種の場合 8単位以上 ※複数教科を取得する場合は、 それぞれの教科より各8単位 計16単位以上を取得する。	4単位 ※課程正科生は二種の場合 2単位以上 (該当教科の教育法Ⅰ、Ⅱ) ※複数教科を取得する場 合は、それぞれの教育 法を取得する。		16単位以上 ※課程正科生は 二種の場合 12単位以上 (ただし高一種 のみは14単位 以上)
高等学校(福祉) 心理学科(公民)	12単位以上 (福祉は社会福祉学Ⅰ、Ⅱを含む)	4単位 (該当教科の教育法Ⅰ、Ⅱ)		14単位以上

注 … 教科の指導法（面接単位）受講条件には特に注意してください。

取得免許状	養護に関する科目	教職に関する科目
養護	14単位以上 ※「学校保健Ⅰ・Ⅱ」「養護概説」「健康相談活動」「基礎看護」「学校救急看護」の6科目を含むこと。	16単位以上

- (2) 本学で実施する教育実習事前指導を受講した方
- (3) 教育実習実施年度の校納金および当該免許に係る課程履修費を納入していること
- (4) 資質・能力にすぐれ、教職につく意志の強固な方
- (5) 実習校（園）の正常な教育活動を妨げるおそれのない方

- (6) 伝染病疾患のない方
- (7) 妊娠中でない方（健康管理上）
- (8) 大学が実習を履修させる、または実習を継続させるに不適当と判断した方については、実習できない場合があります

注意

- ① 地域によっては、教員採用試験の受験者か、または合格者でなければ教育実習を受けられないこともありますので、各自で事前に確認しておく必要があります。
- ② 教員採用試験の受験資格年齢を過ぎている方、および書道科並びに福祉科での教育実習を希望する方は、実習の受け入れが少ないので、教育実習が実施できないこともあります。該当者は前もって個々に実習校（園）を確保してください。

II 実習時期・学年・期間

(1) 教育実習の時期・学年

前記教育実習基礎資格を充足しているとともに、本科生は幼稚園、小学校実習は3年次10月以降（10月生は3年次4月以降）、中学校、高等学校実習および養護実習は4年次以降を原則とします。

なお、3年次編入生は4年次以降とします。課程正科生も同様とします。

(2) 教育実習事前指導

教育実習の単位には、教育実習事前指導・事後指導を合わせて1単位が含まれています。

したがって、実習実施前に本学で実施される**教育実習事前指導に出席しない方の教育実習の実施は認められないので注意してください**。実施日については、「聖徳通信」で発表しますので、見逃さないよう注意してください。

また、事前指導は教育実習の受講予定を考慮のうえ、適時に受講してください。（やむを得ず、事前指導前に教育実習申込みを行う場合は、必ず、事前指導後に実習開始日を設定し報告してください。）なお、事前指導の受講は、原則として在籍期間中は有効ですが、教育実習の単位を未修得のまま在籍期間が切れた場合は無効となりますので、その場合は再入学後に再受講を要します。

(3) 必要実習単位数と実習日数

教育実習は、実習校（園）での1週40～45時間の勤務をもって1単位とし、実習校（園）教職員と同じ勤務時間を服務することとします。

取得免許状	履修単位数	実習日数
幼稚園・小学校	4単位	4週間
中学校	4単位	4週間
高等学校	2単位	2週間
養護	4単位	4週間

注意

- ① 地域によっては、教育実習の受付時期・教育実習実施時期が決められていて、希望の時期に実習できない場合があります。この場合、最短履修期間内に免許状の取得ができないこともあります。
- ② 4単位実習の2分割実施は幼稚園教育実習を除き原則認めません。（幼稚園教育実習は2週間ずつの分割実習を2園にわたって実施することが望ましい）
- ③ 1週間のみの実施は認めません。（養護教諭二種免許状所持者が養護教諭一種免許状を取得する場合を

除きます)

- ④ 諸事情(病欠等)により実習日数が欠けた場合は、実習校(園)に実習期間延長を依頼をするか、あるいは自宅研修の課題をいただき、教育実習簿に学習した内容を具体的に記入してください。(これがない場合、実習日数不足として実習単位の認定はできません。)

※実習期間の変更が生じた場合は早急に本学まで連絡してください。

Ⅲ 教育実習校(園)の選定

教育の現場には、実習生を引き受ける義務はありません。したがって、実習受入校(園)に対しては謙虚な姿勢で自己の教育への熱意を明らかにし、かつ誠意ある態度で臨んでください。

大学より実習校(園)の斡旋、紹介は行いません。入学後教育実習までの学習計画を各自で立案し、それに向けて、早目に教育実習校(園)の確保をすることが必要です。

(注) 実習校は原則として全日制の学校となります。

(注) 養護実習については、養護教諭を置く小学校、中学校または高等学校において実施するものとします。

なお、**勤務校(園)での実習は認めていません。**

一部の地域での公立学校(園)では特別な申請手続きが必要となり、個人で実習校を確保することはできないことがあります。

なお、次に示した特別地域においては、教育委員会指定の手続きがあります。実習の前年度の手続きが必要な地域もありますので、早めにご確認ください。指定の申込用紙がある場合は同封してください。

小樽市、江別市、仙台市、いわき市、前橋市、桐生市、伊勢崎市、草津市、さいたま市、川越市、入間市、比企郡小川町、千葉市、船橋市、柏市、市原市、八千代市、青梅市、横浜市、長野市、松本市、上田市、塩尻市、各務原市、浜松市、湖西市、名古屋市、津市、豊中市、京都市、八幡市、神戸市、姫路市、尼崎市、西宮市、川西市、和歌山市、松江市、出雲市、広島市、呉市、大竹市、東広島市、下関市、宇部市、大島郡周防大島町、高松市、北九州市、福岡市、大牟田市、佐賀市、長崎市、糸満市、岩手県下公立学校、岐阜県下公立学校、愛知県下公立学校、滋賀県下公立学校

※東京都、横浜市公立学校の受入れは大変困難です。他地域、私立学校の開拓が必要になることがあります。

※上記の地域以外にも特別な諸手続きを必要とする場合がありますので、各自、所轄の教育委員会で確認してください。

参考

東京都公立学校(園)における教育実習を希望する方

本学通信教育部では、1年間を通じて実習先の自己開拓を認めています。東京都においても一般地域同様、各公立学校(園)(※以下各学校(園))および各市区町村教育委員会への依頼となります。

ただし、東京都の各学校(園)においては、東京都教育委員会に届け出を行う、「東京都教育委員会指定大学」実習生受け入れが優先されます。**そのため、自己開拓での実習先確保は出身校(園)であっても大変困難です。**

実習希望先から東京都教育委員会への手続きを行うよう指示があった場合、本学通信教育部は指定大学ではないため、東京都教育委員会を通して依頼することができません。各学校(園)に東京都教育委員会による実習とりまとめとは別に受け入れのお願いをしてください。その上で、再度、東京都教育委員会を通さなければ受け入れができないと言われた場合は依頼ができません。

また、内諾をいただいても、指定大学であるという誤解があり、後から実習を断られるケースがあります。**実習先に依頼の際は、聖徳大学通信教育部が東京都教育委員会指定の大学ではないことを、必ずご説明ください。**

既に各学校(園)での実習内諾を得られている方も、再度ご確認ください。

これから都内の実習先を探す方は、他地域や私立学校(園)での実習も検討いただき、ご活動ください。

Ⅳ 教育実習校（園）への依頼と内諾

各自が教育実習基礎資格までの学習計画をたて、教育実習受講開始可能時期および教育実習受講期間が定まりましたら、各自が出身校（園）や知人等を通して実習校（園）を訪問し、内諾を受けなければなりません。最も一般的なものは、自分の出身校（園）に受入れ依頼をすることです。現在教職に就いている方は、勤務校（園）の所属長に相談して近隣地区の学校・園を紹介してもらうのが良いでしょう。

出身校（園）が小規模で受入態勢がとれなかったり、居住区と離れていて通勤が不可能な場合は、現住所から通勤可能な範囲にある地域の教育委員会に相談するのも一つの方法です。（公立学校・園での実習のみ）

内諾等の手続きについては、下記の通りとします。

（１）小学校・中学校・高等学校教育実習および養護実習については、受入れ校と相談の上、内諾を得られる見通しがつきましたら、「履修と学習の手引」巻末の『教育実習内諾書』送付依頼書あるいは「養護実習・実習申込書」に必要事項をもれなく記入の上、本学実習係宛、至急送付してください。本学より実習予定校に、「内諾書」および「依頼書」を送付します。

なお、送付依頼書に「自宅郵送希望」と記載の場合は、自宅へ送付することも可能です。学生は送付された依頼書等を実習校に持参し、記入していただいた「内諾書」は至急本学実習係宛に送付していただくようお願いしてください。

正式の「内諾書」が本学に届きましたら、教育実習基礎資格の単位充足を確認後、実習の派遣状を実習校宛に本学より直接送付して実習を正式にお願いすることになります（実習開始１ヵ月前をめやす）。上記『教育実習内諾書』送付依頼書あるいは「養護実習・実習申込書」は、実習開始日の２ヵ月前までには、本学に提出してください。（２ヵ月を切って申し出た場合は、受付けません）。

教育実習の依頼手順について

実習内諾までの手順

- ① 実習希望校を訪問、内々諾を得ます（口頭での約束、実習期間・担当教員の確認）
↓
- ② 「履修と学習の手引」巻末の「教育実習内諾書送付依頼書」あるいは「養護実習・実習申込書」を大学へ提出します
↓
- ③ 大学より実習希望校へ「実習依頼書」を送付します（②を受理後、１～２週間）
↓
- ④ 実習希望校より大学へ「内諾書」が届きます
↓
- ⑤ 大学より学生へ承諾通知書または内諾書のコピーを送付します

※これらの手続きは、学生より通信教育学務課に「教育実習内諾書送付依頼書」あるいは「養護実習・実習申込書」が届き次第、随時行っています。特に公立学校では、実習前年度に実習生の受入を締め切る地域もあるため、実習を予定する時期の前年度までに、実習希望校に連絡することをお勧めします。学習計画が立ち、実習前年度に内諾を得る学生も多いです。

※実習校校長先生、実習期間に変更がありましたら速やかに本学へご報告くださいますようお願いいたします。

実習開始前

- ⑥ 教育実習基礎資格の単位を満たします（実習開始１ヶ月前に**本学で修得した単位のみ**計算します）
- ⑦ー１ 大学より実習校へ「実習派遣文」、「実習依頼要項」を送付します（教育実習基礎資格を満たしている場合、実習開始１ヶ月前）

- ⑦ー2 実習派遣要件を満たした学生に対し、「実習許可通知書」を送付します（実習開始1ヶ月前）
- ⑦ー3 実習校で実習オリエンテーションを受けます、または電話で持参物などの確認をします（実習開始1ヶ月前をめやす）
- ⑧ 『教育実習の手引き』（小中高養護は事前指導時に配布します。）巻末の「実習成績報告書」・「出勤簿」を指導教員に渡します（実習開始前または当日）

※実習開始前までに、本学で行う「実習事前指導」を必ず受講してください。（年2回実施、詳細は「聖徳通信」で連絡）

実習終了後

- ⑨ 「教育実習録（ノート、日誌）」を大学に提出します（実習終了後2週間がめやす、封筒は学生各自が用意）
- ⑩ 実習校より「実習成績報告書」・「出勤簿」が大学に提出されます（指定の返信封筒を、大学より実習校へ事前に送付）

※実習終了後に、本学で行う「実習事後指導」を必ず受講してください。（年2回実施、詳細は「聖徳通信」で連絡）事後指導を受けて合格した方は、教育実習の単位修得となります。

(2) 幼稚園教育実習については、実習園の内諾が得られましたら、「履修と学習の手引」巻末の幼稚園教育実習「実習申込書」にもれなく記入の上、本学実習係宛、至急送付してください。その「実習申込書」に基づき、実習園宛に本学より直接正式に依頼状を送付します。上記「実習申込書」は実習開始日の2ヵ月前までに本学に提出してください（2ヵ月を切って申し出た場合は、受付けません）。

V 教育実習期間中の勤務について

現在、何らかの職場で勤務している場合、実習期間中はその職場を離れ、本学学生として教育実習に専念しなければならないので、事前に有給休暇等の確保に努めるようにしてください。

なお、産休、育休中の実習実施は認められません。

VI 教育実習終了後の手続きについて

実習終了後、2日以内に「教育実習録（ノート、日誌）」、あるいは「養護実習記録簿」を整理、点検し、実習先の指導教諭に提出して検閲、評価をしていただきます。

その後、実習校（園）を訪問し、お世話になったお礼をのべ、「教育実習録（ノート、日誌）」、あるいは「養護実習記録簿」を実習校より受け取り、「成績評価票」または「実習成績報告書」、「出勤簿」が本学へ送付されたかを確認してください。（実習終了後10日以内をめやすに）

受け取った実習録は、内容を確認後、すみやかに本学に送付してください。（養護実習記録簿は事後指導当日に持参してください。）

VII 単位の振替について

(1) 既修得の教育実習単位を流用する場合

幼稚園・小学校・中学校・高等学校の教員免許状をすでに取得している場合は、その教員免許状を取得する際に修得した教育実習の単位を、他の学校種の教員免許状（高等学校の教員免許状を除く）の教育実習の単位に流用ができます。

（例、幼稚園免許状所有者→小学校免許状取得の場合 実習5単位－流用単位3単位＝2単位）

流用する場合の教育実習の単位は、「事前・事後指導 1 単位」と「現場教育実習 2 単位（2 週間）」を修得することになりますが、現場教育実習 2 週間の教育実習受入れ校（園）を確保することが必要となります。なお、幼稚園・小学校の教育実習はその実習内容から 2 週間では十分な指導ができないとの考えもありますから、4 週間の教育実習を本学では勧めています。

※1 上記の流用で申請する場合、所轄の都道府県教育委員会にあらかじめ照会し、指示を受けておい
てください。

※2 養護教諭については、単位の振替（流用）の適用はありません。

(2) 教職等の経験をもって教育実習単位を教職に関する科目の単位で振替える場合

教育職員免許法施行規則第 6 条あるいは第 10 条の表、備考により、教職経験（幼稚園、小学校の教育実習にあっては幼稚園および小学校の、中学校、高等学校の教育実習にあっては中学校、高等学校の教職経験）、あるいは養護教諭としての経験（次表の「振替の対象となる勤務」を含む）をもって、教育実習の単位の全部または一部を振替えるもので、教員、あるいは養護教諭等として 1 年以上良好な成績で勤務した方について、経験年数 1 年につき 1 単位の割合で、教職に関する科目の単位をもって振替えることができます（免除ではありません）。

（注）中学校・高等学校の勤務経験を幼稚園・小学校の教育実習単位に振替えることはできません。（逆の場合も不可）

取得希望免許状	振替の対象となる勤務	備 考
幼稚園または小学校	幼稚園・小学校または特殊教育諸学校（盲・聾・養護学校）の 幼稚部・小学部での教諭・助教諭・講師としての勤務	実習助手・養護教諭・事務職員等の勤務は振替の対象とはなりません。
中学校または高等学校	中学校・高等学校または特殊教育諸学校（盲・聾・養護学校）の 中等部・高等部での教諭・助教諭・講師としての勤務	
養護教諭	養護教諭、養護助教諭または教育職員免許法施行規則第 69 条の （注）（4）参照 2 に規定する職員としての勤務	

〈注〉（1）勤務振替を希望する方は、所轄の都道府県教員委員会を訪問し、免許担当係より実務振替が可能である旨の確認をとった後、教育実習（養護実習）単位変更願を本学に提出します。（任意書式で良い）

（2）幼・小・中は、当該校での 5 年以上の勤務、高は、当該校での 3 年以上の勤務者を対象とします。幼・小・中で、2 単位分の振替しかできませんので、残り 3 単位（2 週間の実習＋事前事後指導 1 単位）を履修することになります。

（3）勤務振替の手続きを行った場合の免許申請は、個人申請になります。

（4）小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、盲学校、聾学校、養護学校または幼稚園において専ら児童、生徒または幼児の養護に従事する常勤の職員であって、免許法附則第 7 項の規定により、養護助教諭の臨時免許状を受けることができる方等が該当します。

Ⅷ 科目（単位）の評価と単位の認定

教育実習の評価は、教育実習受入校での成績を参考にし、本学教員による「教育実習録（ノート）」、あるいは「養護実習記録簿」の採点および、実習事後指導の受講により 100 点満点の点数で評価され、60 点以上が合格となります。

なお、原則 3 月卒業生・春期事後指導受講希望者は前年 11 月 30 日まで（実習録提出締切：平成 27 年 1 月 9 日（金））に、9 月卒業生・夏期事後指導受講希望者は同年の 6 月 30 日まで（実習録提出締切：平成 26 年 7 月 11 日（金））に教育実習が完了していることが必要です。

また、教職実践演習を受講する場合は、以下の通りとなります。

○夏期受講の場合 … 6 月末までに実習が完了していること

○冬期受講の場合 … 11 月末までに実習が完了していること

○春期受講の場合 … 12 月末までに実習が完了していること

児童学科 (平成26年度入学生)

■幼稚園教諭免許状

			1 年次入学生		3 年次編入生・課程正科生一種		課程正科生二種
授業科目名			要件	チェック欄	要件	チェック欄	チェック欄
教科	国語 I	2	8 単位以上		8 単位以上		
	数学 I	2	※音楽・図画		※音楽・図画		
	生活 I	2	工作・体育		工作・体育		
	音楽実技 I	2	より 2 科目		より 2 科目		
	音楽実技 II	2	4 単位を含む		4 単位を含む		
	音楽理論 I	2					
	図画工作 I	2					
	専門体育 I	2					
教職	保育内容の指導法	保育内容総論	1	7 単位以上	7 単位以上		
		保育内容指導法 I	1	※保育内容	※保育内容		
		保育内容指導法 II	1	総論 + 保育	総論 + 保育		
		保育内容指導法 III	1	内容指導法	内容指導法		
		保育内容指導法 IV	1	より 3 科目	より 3 科目		
		保育内容指導法 V	1	6 単位以上	6 単位以上		
		保育内容指導法 VI	1				
		保育内容指導法 VII	1				
		保育内容指導法 VIII	1				
		保育内容指導法 IX	1				
		保育内容指導法 X	1				
		保育内容指導法 XI	1				
		保育内容指導法 XII	1				
	教職科目全般	教職入門	2	12 単位以上	12 単位以上		
		教育基礎論	2				
		発達心理学 I	2				
		障害児心理学	2				
		教育社会学	2				
		教育課程論	2				
		児童文化 I	1				
		教育方法学	2				
		保育原理 I	2				
		幼児理解・保育相談	2				
		教育相談	2				
全学共通科目	言語と文化 I	2	10 単位以上				
	言語と文化 II	2	※聖徳教育				
	日本国憲法 (※)	2	及び教免必				
	自然と数理 I	2	修科目 (※)				
	女性と子ども I	2	8 単位を含む				
	女性と子ども II	2					
	生活の科学 I	2					
	生活の科学 II	2					
	英語 (※)	2					
	体育 (※)	2					
	情報活用 (※)	2					
	聖徳教育	2					
	児童学の保健学的基礎 I	2	10 単位以上				
	児童学の保健学的基礎 II	2					
	児童学の心理学的基礎 I	2					
基礎科目群	児童学の心理学的基礎 II	2					
	児童学の社会学的基礎 I	2					
	児童学の社会学的基礎 II	2					
	児童学の教育学的基礎 I	2					
	児童学の教育学的基礎 II	2					
	児童学の福祉学的基礎 I	2					
	児童学の福祉学的基礎 II	2					
	卒業研究	4					

終了している
ことが望ましい

児童学科 (平成26年度入学生)

■小学校教諭免許状

			1 年次入学生		3 年次編入生・課程正科生一種		課程正科生二種	
授業科目名			要件	チェック欄	要件	チェック欄	要件	チェック欄
教科	国語 I	2	10単位以上 ※音楽・図画 工作・専門体 育より2科目 4単位を含む		10単位以上 ※音楽・図画 工作・専門体 育より2科目 4単位を含む		6 単位以上	
	書写・書道	2						
	社会 I	2						
	数学 I	2						
	理科 I	2						
	生活 I	2						
	音楽実技 I	2						
	音楽実技 II	2						
	音楽理論 I	2						
	図画工作 I	2						
	専門体育 I	2						
	家庭 I	2						
教科	教科の指導法	2	8 単位以上		8 単位以上		8 単位以上	
	社会科教育法	2						
	算数科教育法	2						
	理科教育法	2						
	生活科教育法	2						
	音楽科教育法	2						
	図画工作科教育法	2						
	体育科教育法	2						
	家庭科教育法	2						
職	教職入門	2	12単位以上		12単位以上		12単位以上	
	教育基礎論	2						
	発達心理学 I	2						
	障害児心理学	2						
	教育社会学	2						
	教育課程論	2						
	道德教育の研究	2						
	特別活動の指導法	2						
	教育方法学	2						
	生徒指導(進路指導を含む)	2						
	教育相談	2						
全学 共通 科目	言語と文化 I	2	10単位以上 ※聖徳教育 及び教免必 修科目(※) 8 単位を含 む					
	言語と文化 II	2						
	日本国憲法(※)	2						
	自然と数理 I	2						
	女性と子ども I	2						
	女性と子ども II	2						
	生活の科学 I	2						
	生活の科学 II	2						
	英語(※)	2						
	体育(※)	2						
	情報活用(※)	2						
	聖徳教育	2						
基礎 科目 群	児童学の保健学的基礎 I	2	10単位以上					
	児童学の保健学的基礎 II	2						
	児童学の心理学的基礎 I	2						
	児童学の心理学的基礎 II	2						
	児童学の社会学的基礎 I	2						
	児童学の社会学的基礎 II	2						
	児童学の教育学的基礎 I	2						
	児童学の教育学的基礎 II	2						
	児童学の福祉学的基礎 I	2						
	児童学の福祉学的基礎 II	2						
	卒業研究	4						

終了している
ことが望ましい

心理学科 (平成26年度入学生)

■高等学校教諭一種免許状(公民)			1 年次入学生		3 年次編入生・課程正科生	
授業科目名		単位	要件	チェック欄	要件	チェック欄
教科	法学	2	12単位以上		12単位以上	
	社会と制度Ⅰ	2				
	社会と制度Ⅱ	2				
	心理学概論	4				
	発達心理学Ⅰ(幼児・学童)	2				
	社会心理学	4				
	学習心理学	4				
	人格心理学	4				
	心理学研究法	4				
	臨床心理学	4				
教科 職 目 全 般	教科の指導法	社会科・公民科教育法Ⅰ	4 単位		4 単位	
		社会科・公民科教育法Ⅱ				
	教 職 科 目 全 般	教職入門	14単位以上		14単位以上	
		教育基礎論				
		教育心理学				
		発達心理学				
		障害児心理学				
		教育社会学Ⅰ				
		教育課程論				
		特別活動の指導法				
		教育方法学				
		生徒指導(進路指導を含む)				
		教育相談				
全 学 共 通 科 目	言語と文化Ⅰ	2	12単位以上 ※聖徳教育 及び教免必 修科目(※) 8単位を含む			
	言語と文化Ⅱ	2				
	日本国憲法(※)	2				
	自然と数理Ⅰ	2				
	女性と子どもⅠ	2				
	女性と子どもⅡ	2				
	生活の科学Ⅰ	2				
	生活の科学Ⅱ	2				
	英語(※)	2				
	体育(※)	2				
	情報活用(※)	2				
	聖徳教育	2				
必 修 科 目	心理学概論	4	20単位以上			
	発達心理学Ⅰ(幼児・学童)	2				
	発達心理学Ⅱ(青年～老年)	2				
	教育心理学	2				
	心理学史	4				
	社会心理学	4				
	学習心理学	4				
	人格心理学	4				
	心理学研究法	4				
	基礎心理統計法	2				
	応用心理統計法	2				
	心理学基礎実験(初級)	1				
	心理学基礎実験(中級)	2				
	心理検査理論	1				
	心理検査実習Ⅰ	1				
	臨床心理学	4				
	認知心理学	4				
	精神医学	4				
	心理検査実習Ⅱ	1				

社会福祉学科（平成26年度入学生）

■高等学校教諭一種免許状（福祉）			1 年次入学生		3 年次編入生・課程正科生	
授業科目名		単位	要件	チェック欄	要件	チェック欄
教 科	社会福祉学Ⅰ（含職業指導）（※）	2	12単位以上 （※印の4単位を含む）		12単位以上 （※印の4単位を含む）	
	社会福祉学Ⅱ（※）	2				
	諸外国の社会福祉Ⅰ	2				
	諸外国の社会福祉Ⅱ	2				
	高齢者福祉論Ⅰ	2				
	児童福祉学Ⅰ	2				
	障害福祉論Ⅰ	2				
	社会福祉援助技術総論Ⅰ	2				
	社会福祉援助技術総論Ⅱ	2				
	ソーシャルワーク論Ⅰ	2				
	介護概論Ⅰ	2				
	介護技術	1				
	社会福祉援助技術現場実習	4				
	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ	1				
	介護実習Ⅰ	2				
	心理学	2				
	医学一般Ⅰ	2				
	こころとからだのしくみⅠ	2				
	こころとからだのしくみⅡ	2				
	医学一般Ⅱ	2				
教 職	教科の指導法	福祉科教育法Ⅰ	4単位		4単位	
		福祉科教育法Ⅱ				
	教職科目全般	教職入門	14単位以上		14単位以上	
		教育基礎論				
		教育心理学				
		発達心理学				
		障害児心理学				
		教育社会学Ⅰ				
		教育課程論				
		特別活動の指導法				
		教育方法学				
		生徒指導（進路指導を含む）				
		教育相談				
全 学 共 通 科 目	言語と文化Ⅰ	2	12単位以上 ※聖徳教育及び教免必修科目（※） 8単位を含む			
	言語と文化Ⅱ	2				
	日本国憲法（※）	2				
	自然と数理Ⅰ	2				
	女性と子どもⅠ	2				
	女性と子どもⅡ	2				
	生活の科学Ⅰ	2				
	生活の科学Ⅱ	2				
	英語（※）	2				
	体育（※）	2				
	情報活用（※）	2				
	聖徳教育	2				
必 修 科 目	社会保障論Ⅰ	2	すべて修得 （10単位）			
	社会保障論Ⅱ	2				
	地域福祉論Ⅰ	2				
そ の 他	上記科目以外の科目 （上記の科目で要件単位を超えて修得した単位を含めてもよい）		10単位以上			

社会福祉学科（平成26年度入学生）

■養護教諭一種免許状			1 年次入学生		3 年次編入生・課程正科生	
授業科目名		単位	要件	チェック欄	要件	チェック欄
養護に関する科目	衛生学	2	14単位以上		14単位以上	
	公衆衛生学	2	※学校保健		※学校保健	
	学校保健Ⅰ（※）	2	Ⅰ・Ⅱ、養護		Ⅰ・Ⅱ、養護	
	学校保健Ⅱ（※）	2	概説、健康		概説、健康	
	養護概説（※）	2	相談活動、		相談活動、	
	健康科学	2	基礎看護、		基礎看護、	
	健康相談活動（※）	2	学校救急看護		学校救急看護	
	栄養学	2	の12単位		の12単位	
	食品学	2	を含める		を含める	
	解剖生理学	2	（※）		（※）	
	免疫学	2				
	精神保健	2				
	基礎看護（※）	2				
	小児看護	2				
	成人看護	2				
	母性保健	2				
	学校救急看護（※）	2				
	精神看護	2				
教職	教職入門	2	16単位以上		16単位以上	
	教育基礎論	2				
	教育心理学	2				
	発達心理学	2				
	障害児心理学	2				
	教育社会学Ⅰ	2				
	教育課程論	2				
	道德教育の指導法	2				
	特別活動の指導法	2				
	教育方法学	2				
	生徒指導論	2				
	教育相談	2				
全学共通科目	言語と文化Ⅰ	2	12単位以上			
	言語と文化Ⅱ	2	※聖徳教育			
	日本国憲法（※）	2	及び教免必修科目（※）			
	自然と数理Ⅰ	2	8単位を含む			
	女性と子どもⅠ	2				
	女性と子どもⅡ	2				
	生活の科学Ⅰ	2				
	生活の科学Ⅱ	2				
	英語（※）	2				
	体育（※）	2				
	情報活用（※）	2				
	聖徳教育	2				
必修科目	社会福祉学Ⅰ（含職業指導）（※）	2	10単位以上			
	社会福祉学Ⅱ（※）	2	（※印の4単位を含む）			
	社会保障論Ⅰ	2				
	社会保障論Ⅱ	2				
	地域福祉論Ⅰ	2				
	医学一般Ⅰ	2				
	医学一般Ⅱ	2				
その他	上記科目以外の科目 （上記の科目で要件単位を超えて 修得した単位を含めてもよい）		10単位以上			

〈注〉看護実習の実習基礎資格も同様です。

文学科 (平成26年度入学生)

■中学校教諭・高等学校教諭免許状(国語)

			1 年次入学生		3 年次編入生・課程正科生一種		課程正科生二種	
授業科目名			要件	チェック欄	要件	チェック欄	要件	チェック欄
教科	科	日本語概説Ⅰ	10単位以上		10単位以上		8単位以上	
		日本語概説Ⅱ						
		日本語表現法Ⅰ						
		日本語表現法Ⅱ						
		日本語の語法Ⅰ						
		日本語の歴史Ⅰ						
		日本語の歴史Ⅱ						
		日本語の音声						
		日本古典文学の基礎Ⅰ						
		日本古典文学の基礎Ⅱ						
		日本文学概説Ⅱ						
		日本古典文学史Ⅰ						
		日本古典文学史Ⅱ						
		日本近現代文学史Ⅰ						
		日本近現代文学史Ⅱ						
		漢文学の基礎Ⅰ						
		漢文学の基礎Ⅱ						
		書写・書道Ⅰ(中免)						
		書写・書道Ⅱ(中免)						
教職	教科の指導法	国語科教育法Ⅰ	4 単位		4 単位		2 単位	
		国語科教育法Ⅱ						
	教職科目全般	教職入門	16単位以上		16単位以上 (ただし高一種のみは 14単位以上)		12単位以上	
		教育基礎論						
		教育心理学						
		発達心理学						
		障害児心理学						
		教育社会学Ⅰ						
		教育課程論						
		道德教育の指導法(中免)						
		特別活動の指導法						
		教育方法学						
		生徒指導(進路指導含む)						
		教育相談						
全学共通科目	目	言語と文化Ⅰ	12単位以上 ※聖徳教育 及び教免必修科目(※) 8単位を含む					
		言語と文化Ⅱ						
		日本国憲法(※)						
		自然と数理Ⅰ						
		女性と子どもⅠ						
		女性と子どもⅡ						
		生活の科学Ⅰ						
		生活の科学Ⅱ						
		英語(※)						
		体育(※)						
		情報活用(※)						
		聖徳教育						
その他		上記科目以外の科目 (上記の科目で要件単位を超えて 修得した単位を含めてもよい)	20単位以上					

文 学 科 (平成26年度入学生)

■中学校教諭(社会)・高等学校教諭免許状(地歴)

				1 年次入学生		3 年次編入生・課程正科生一種		課程正科生(社会)二種	
授業科目名				要件	チェック欄	要件	チェック欄	要件	チェック欄
教 科	共通	日本史概説Ⅰ	2	10単位以上 ※社会、地歴 の両方を取得 する場合は 16単位以上取 得		10単位以上 ※社会、地歴 の両方を取得 する場合は 16単位以上取 得		8単位以上	
		日本史概説Ⅱ	2						
		日本古代史Ⅰ	2						
		日本古代史Ⅱ	2						
		日本中世史Ⅰ	2						
		日本中世史Ⅱ	2						
		日本近世史Ⅰ	2						
		日本近世史Ⅱ	2						
		日本近現代史Ⅰ	2						
		日本近現代史Ⅱ	2						
		西洋史概説	2						
		東洋史概説	2						
		地理学Ⅰ	2						
		地理学Ⅱ	2						
		地誌学	2						
	社会	政治学入門	2						
		社会学入門Ⅰ	2						
		経済学入門	2						
		倫理学入門	2						
		宗教学入門	2						
	地歴	日本考古学Ⅰ	2						
		日本考古学Ⅱ	2						
		日本美術史Ⅰ	2						
		日本美術史Ⅱ	2						
教 職	教科の 指導法	社会科・地歴科教育法Ⅰ	2					2 単位	
		社会科・地歴科教育法Ⅱ	2						
		社会科・公民科教育法Ⅰ	2						
		社会科・公民科教育法Ⅱ	2						
	教 職 科 目 全 般	教職入門	2					12単位以上	
		教育基礎論	2						
		教育心理学	2						
		発達心理学	2						
		障害児心理学	2						
		教育社会学Ⅰ	2						
		教育課程論	2						
		道德教育の指導法(中免)	2						
		特別活動の指導法	2						
		教育方法学	2						
		生徒指導(進路指導を含む)	2						
		教育相談	2						
全 学 共 通 科 目	言語と文化Ⅰ	2	12単位以上 ※聖徳教育及 び教免必修科 目(※) 8単 位を含む						
	言語と文化Ⅱ	2							
	日本国憲法(※)	2							
	自然と数理Ⅰ	2							
	女性と子どもⅠ	2							
	女性と子どもⅡ	2							
	生活の科学Ⅰ	2							
	生活の科学Ⅱ	2							
	英語(※)	2							
	体育(※)	2							
	情報活用(※)	2							
	聖徳教育	2							
そ の 他	上記科目以外の科目 (上記の科目で要件単位を超えて 修得した単位を含めてもよい)			20単位以上					

文学科 (平成26年度入学生)

■高等学校教諭一種免許状(公民)

			1 年次入学生		3 年次編入生・課程正科生	
授業科目名			要件	チェック欄	要件	チェック欄
教 科	政治学入門	2	10単位以上		10単位以上	
	国際関係論	4				
	国際機構論	4				
	社会学入門Ⅰ	2				
	民俗文化論Ⅰ	2				
	民俗文化論Ⅱ	2				
	ジェンダー論の基礎	2				
	経済学入門	2				
	国際経済論	2				
	倫理学入門	2				
	宗教学入門	2				
	宗教文化論Ⅰ	2				
	宗教文化論Ⅱ	2				
	心理学入門	2				
	心理学概論	4				
教 職	教科の 指導法	社会科・公民科教育法Ⅰ	4 単位		4 単位	
		社会科・公民科教育法Ⅱ				
	教 職 科 目 全 般	教職入門	16単位以上		16単位以上	
		教育基礎論				
		教育心理学				
		発達心理学				
		障害児心理学				
		教育社会学Ⅰ				
		教育課程論				
		特別活動の指導法				
		教育方法学				
		生徒指導(進路指導を含む)				
		教育相談				
全 学 共 通 科 目	言語と文化Ⅰ	2	12単位以上 ※聖徳教育 及び教免必 修科目(※) 8単位を含む			
	言語と文化Ⅱ	2				
	日本国憲法(※)	2				
	自然と数理Ⅰ	2				
	女性と子どもⅠ	2				
	女性と子どもⅡ	2				
	生活の科学Ⅰ	2				
	生活の科学Ⅱ	2				
	英語(※)	2				
	体育(※)	2				
	情報活用(※)	2				
	聖徳教育	2				
そ の 他	上記科目以外の科目 (上記の科目で要件単位を超えて 修得した単位を含めてもよい)		20単位以上			

文 学 科 (平成26年度入学生)

■高等学校教諭一種免許状(書道)

			1 年次入学生		3 年次編入生・課程正科生	
授業科目名			要件	チェック欄	要件	チェック欄
教 科	書写・書道Ⅰ	1	10単位以上		10単位以上	
	書写・書道Ⅱ	1				
	楷書の技法 (A) Ⅰ	1				
	楷書の技法 (A) Ⅱ	1				
	行書の技法Ⅰ	1				
	行書の技法Ⅱ	1				
	かなの技法Ⅰ	1				
	かなの技法Ⅱ	1				
	楷書の技法 (B) Ⅰ	1				
	楷書の技法 (B) Ⅱ	1				
	草書の技法Ⅰ	1				
	草書の技法Ⅱ	1				
	隷書の技法	1				
	篆書の技法	1				
	中国書道史概説	2				
	日本書道史概説	2				
	書学入門	2				
	書論・鑑賞	2				
	日本文学概説Ⅰ	2				
	日本古典文学史Ⅰ	2				
	日本古典文学史Ⅱ	2				
	日本近現代文学史Ⅰ	2				
	日本近現代文学史Ⅱ	2				
	漢文学の基礎Ⅰ	1				
	漢文学の基礎Ⅱ	1				
	漢文講読Ⅰ	2				
	漢文講読Ⅱ	1				
教 職	教科の 指導法	書道科教育法Ⅰ	4 単位		4 単位	
		書道科教育法Ⅱ				
	教 職 科 目 全 般	教職入門	16単位以上		14単位以上	
		教育基礎論				
		教育心理学				
		発達心理学				
		障害児心理学				
		教育社会学Ⅰ				
		教育課程論				
		特別活動の指導法				
		教育方法学				
		生徒指導(進路指導を含む)				
		教育相談				
全 学 共 通 科 目	言語と文化Ⅰ	2	12単位以上 ※聖徳教育及 び教免必修科 目(※) 8単 位を含む			
	言語と文化Ⅱ	2				
	日本国憲法(※)	2				
	自然と数理Ⅰ	2				
	女性と子どもⅠ	2				
	女性と子どもⅡ	2				
	生活の科学Ⅰ	2				
	生活の科学Ⅱ	2				
	英語(※)	2				
	体育(※)	2				
	情報活用(※)	2				
	聖徳教育	2				
そ の 他	上記科目以外の科目 (上記の科目で要件単位を超えて 修得した単位を含めてもよい)		20単位以上			

文 学 科 (平成26年度入学生)

■中学校教諭・高等学校教諭免許状(英語)

			1 年次入学生		3 年次編入生・課程正科生一種		課程正科生中学校二種	
授業科目名			要件	チェック欄	要件	チェック欄	要件	チェック欄
教 科	英語の語彙と用法Ⅰ	1	10単位以上		10単位以上		8単位以上	
	英語の語彙と用法Ⅱ	1						
	英語の語彙と用法Ⅲ	1						
	英語の語彙と用法Ⅳ	1						
	英語音声学Ⅰ	1						
	英語音声学Ⅱ	1						
	英語学入門Ⅰ	2						
	英語学入門Ⅱ	2						
	基礎英文法Ⅰ	2						
	基礎英文法Ⅱ	2						
	イギリス文学史Ⅰ	2						
	イギリス文学史Ⅱ	2						
	アメリカ文学史Ⅰ	2						
	アメリカ文学史Ⅱ	2						
	英米の詩Ⅰ	1						
	英米の詩Ⅱ	1						
	英米の小説Ⅰ	1						
	英米の小説Ⅱ	1						
	英米の批評・随筆Ⅰ	1						
	英米の批評・随筆Ⅱ	1						
	英語のスピーキング・リスニングⅠ	2						
	英語のスピーキング・リスニングⅡ	2						
	現代イギリス事情Ⅰ	1						
	現代イギリス事情Ⅱ	1						
	現代アメリカ事情Ⅰ	1						
	現代アメリカ事情Ⅱ	1						
教 職	教科の 指導法	英語科教育法Ⅰ	4 単位		4 単位		2 単位	
		英語科教育法Ⅱ						
	教 職 科 目 全 般	教職入門	16単位以上		16単位以上 (ただし高一 種のみは 14単位以上)		12単位以上	
		教育基礎論						
		教育心理学						
		発達心理学						
		障害児心理学						
		教育社会学Ⅰ						
		教育課程論						
		道德教育の指導法(中免)						
		特別活動の指導法						
		教育方法学						
		生徒指導(進路指導を含む)						
		教育相談						
全 学 共 通 科 目	言語と文化Ⅰ	2	12単位以上 ※聖徳教育及 び教免必修科 目(※) 8単 位を含む					
	言語と文化Ⅱ	2						
	日本国憲法(※)	2						
	自然と数理Ⅰ	2						
	女性と子どもⅠ	2						
	女性と子どもⅡ	2						
	生活の科学Ⅰ	2						
	生活の科学Ⅱ	2						
	英語(※)	2						
	体育(※)	2						
	情報活用(※)	2						
	聖徳教育	2						
そ の 他	上記科目以外の科目 (上記の科目で要件単位を超えて 修得した単位を含めてもよい)		20単位以上					